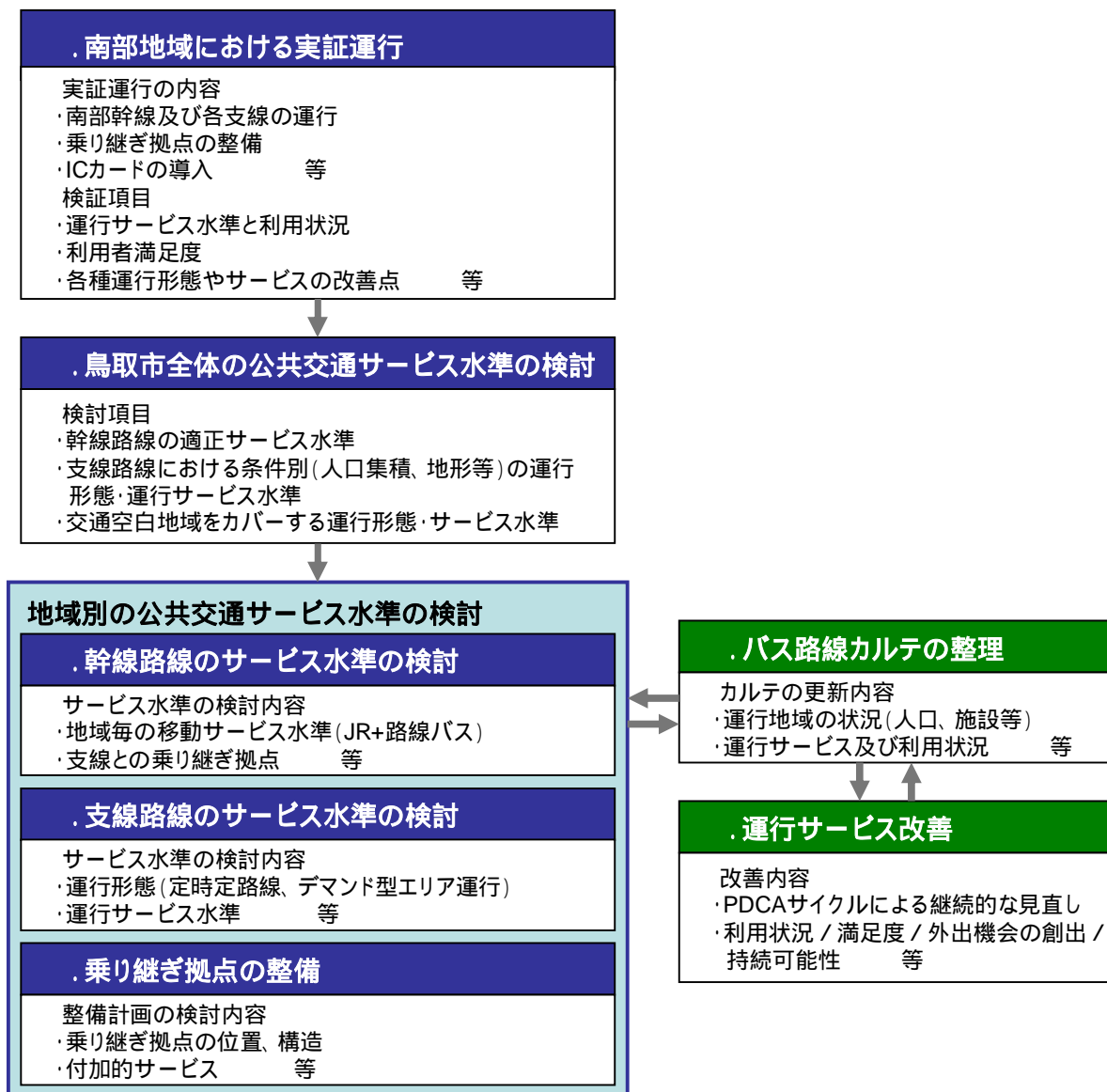


第3章 バス路線網再編に向けた今後の取り組み

3-1 バス路線網再編のフロー

鳥取市全体のバス路線網の再編にあたっては、先行して実施する南部地域の実証運行結果を踏まえて、「鳥取市全体の公共交通サービス水準の検討」を行うこととする。その上で、「各地域別の幹線路線、支線路線の適正な運行サービス水準」を検討する。さらに、これら幹線と支線の連携を強化し、利便性の高いネットワークを構築するために「乗り継ぎ拠点の環境整備」を実施することが不可欠となる。

これら幹線、支線、乗り継ぎ拠点から構成される公共交通ネットワーク構築の計画や運行サービスは常にデータベース化を行い、各時点での再編の検討における基礎資料として活用する必要がある。そのため、「バス路線カルテの継続的な整理」を行うとともに、このような基礎データに基づく「PDCA サイクルによる運行サービスの改善」を継続的に実施する必要がある。



3-2 鳥取市全体の公共交通サービス水準の検討

南部地域における実証運行結果を踏まえ、鳥取市全体の公共交通に関するサービス水準の考え方を検討し、地域間の公平性に配慮した公共交通ネットワークを構築する必要がある。

主な検討項目は、以下のとおりとする。

幹線路線の適正サービス水準

幹線路線において、通勤においても利用しなくなる交通サービス水準と実際に提供可能な運行体制の関係から、適正なサービス水準の考え方を検討する。また、幹線交通として JR が位置付けられている地区では、JR と路線バスの組み合わせで検討を行う。

支線路線の運行形態・運行サービス水準

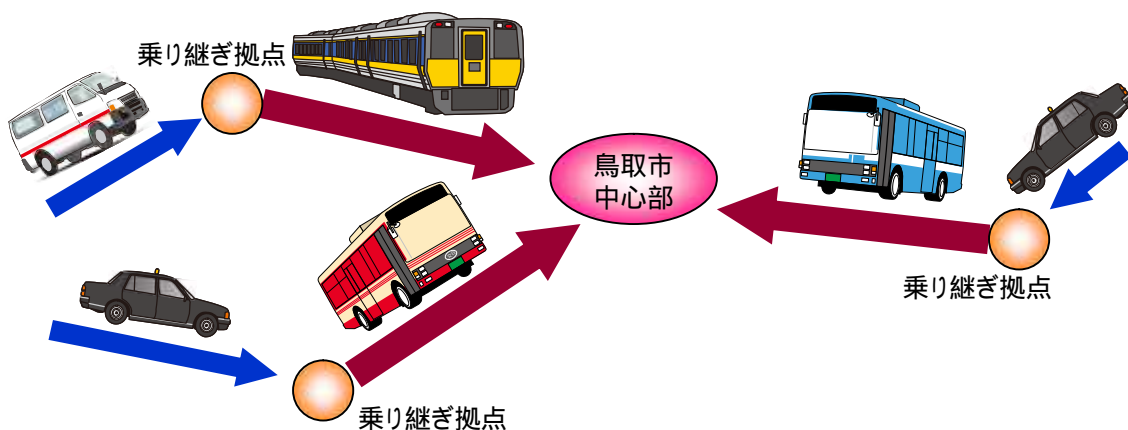
支線路線の人口集積状況や公共交通の運行に大きな影響を及ぼす地形条件などによって提供する公共交通の運行形態（定時定路線、デマンド型エリア運行、車両サイズなど）の統一した基準の設定を検討する。

また、提供する運行サービス水準（曜日運行、運行便数、バス停間隔、料金など）の統一した考え方を整理する。

3-3 地域別の公共交通サービス水準の検討

鳥取市全体の公共交通サービス水準の考え方に基づき、各地域の実情を考慮したうえで運行サービス水準を検討する。

具体的な事業進捗に向けては、市民等（地域住民、商業者、NPO 法人等）と連携して各地域の交通課題の抽出や解決策を検討するとともに、JR、路線バス事業者、タクシー事業者と連携して、運行に向けた協議・調整を図った上で実施する必要がある。



3-4 バス路線カルテの継続的な整理

鳥取市における公共交通の運行見直しを統一した考え方の基で実施するためには、基礎データの集積が不可欠となる。そのためには、バス路線カルテを継続して整理することが効果的である。

具体的なカルテの内容とカルテ作成のための継続的な調査・計測項目を以下に示す。

また、これらデータはGISを活用して整備することが効果的であり、中国運輸局から提供されている「地域バス運行計画支援システム WEB-ComPASS」の活用を検討する。

バス路線カルテの内容

- ・ バス路線、バス停位置
- ・ ダイヤ、運賃
- ・ 利用状況
- ・ スクールバス機能
- ・ バス停勢圏人口
- ・ バス停勢圏内の主要施設
- ・ 収支状況



Google上の人口50mメッシュとバス停勢圏



(中国運輸局 HP より)

3-5 PDCA サイクルによる運行サービスの改善

公共交通サービスは、地域の人口減少、高齢化の進行、免許証非保有者の減少など利用者側の環境変化、及び学校や医療施設の統廃合、商業施設の新設・廃業など目的地側の環境変化によって、利用者のニーズや必要となるサービスが大きく異なってくる。そのため、運行再編時の交通サービスを適宜見直して、継続的に改善を図る必要がある。

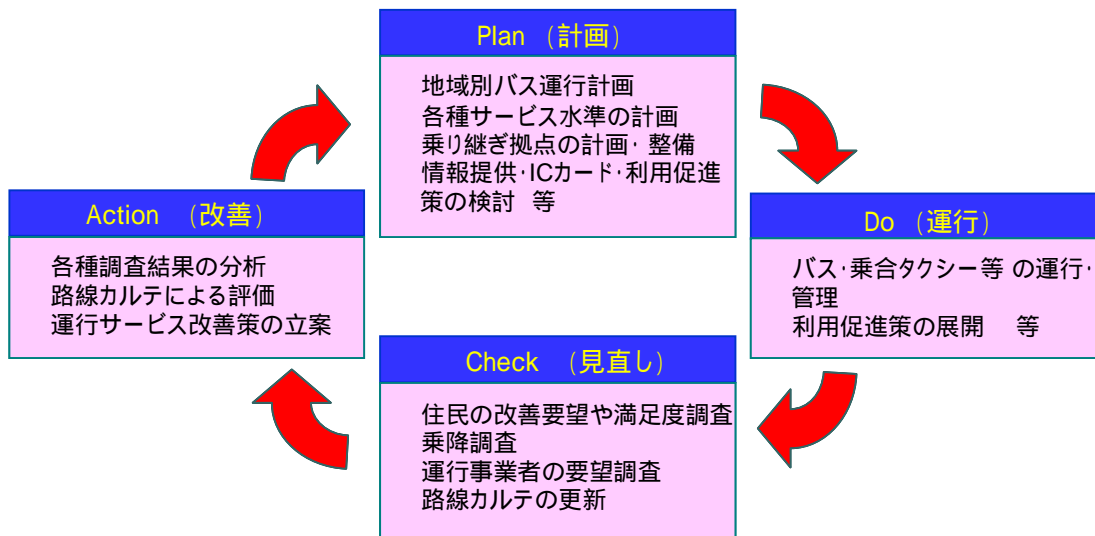
運行見直しにあたっては、Plan（運行計画策定）・Do（運行）・Check（サービス内容の調査・確認）・Action（運行内容の改善）からなるPDCAサイクルによって実施することが必要となる。

Plan（運行計画策定）では、地域別のバスや乗合タクシーなどの運行計画について、運行経路や運賃、バス停、運行形態、運行主体などを計画するとともに、乗り継ぎ拠点の環境向上や公共交通全体の利用促進策や情報提供策などを具体的に立案する。

Do（運行）では、バスや乗合タクシー等の運行を行うとともに、利用促進策の展開等を実施する。

運行サービスの評価を毎年Check（見直し）するものとし、住民のサービスに対する改善要望や満足度を調査するとともに、路線別の乗降調査を実施する。また、運行事業者との協議から運行サービスの改善要望も併せて調査する。さらに、路線カルテを更新して、路線間のサービスの比較や利用状況の変化を把握する。

Action（運行内容の改善）では、各種調査結果を詳細に分析するとともに、路線カルテによる評価結果に基づき、運行サービスの改善策を検討する。



3-6 バス路線の計画・運行・管理における役割分担

鳥取市のバス路線網を維持し、より利用しやすい環境に改善するためには、前項に示したPDCAサイクルに基づく検討を行う必要がある。ただし、これら取り組みは、行政や運行事業者だけが行うのではなく、路線バスに関係する様々な主体（市民、企業、NPO、運行事業者、行政）が役割分担を明確にして、力をあわせて取り組んでいくことが必要となる。

各関係主体の役割分担の内容を以下に示す。

	地域(市民、企業、NPO等)	行政	交通事業者
計画の段階	<ul style="list-style-type: none"> ・移動ニーズの整理 ・地域主体の運行計画 ・民間による公共交通支援策検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・運行計画立案・調整 ・事業者間の調整 ・地域主体の運行計画のサポート(計画、申請等) ・ICカード導入・調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主運行路線の運行計画立案 ・補助路線、委託路線の運行計画(車両、運転手、運行ダイヤ) ・ICカード導入
運行管理の段階	<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地有償運送などの運行・安全管理(NPO等) ・交通結節点の環境向上(民地の活用など) ・民間による公共交通支援策検討 ・利用による路線維持(市民・企業等) ・バスへの広告、利用優待券など(企業等) ・脱自動車など環境への取り組み(市民・企業等) 	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村有償運送などの運行・安全管理 ・主要交通結節点の環境向上(バリアフリー、上屋設置など) ・バス路線カルテによる継続的な評価・分析 ・運行補助の手続き ・バスネット、バスブックなどの情報提供 ・モビリティマネジメントなどの利用促進策 	<ul style="list-style-type: none"> ・路線バス・乗合タクシーなどの運行・安全管理 ・バス停の整備・管理 ・経費節減策の検討 ・時刻表、各種割引チケット等の企画・運営・広報 ・利用状況の調査 ・モビリティマネジメントなどの利用促進策 ・環境配慮型車両の導入